

# 令和2年度 第1回遠野市地域未来投資推進協議会 会議記録

## 【開催概要】

- 1 日時 令和2年8月28日(金) 10:00~10:30
- 2 場所 遠野市役所 本庁舎3階 中会議室B・C
- 3 出席者

### (1) 構成員

会長	遠野市	産業部長	中村 光一
	遠野商工会	事務局長	斎藤 茂
	株式会社岩手銀行	遠野支店長	菊田 修一
	株式会社東北銀行	遠野支店長	備前 修

### (2) オブザーバー出席

	大野ゴム工業株式会社	常務取締役	伊藤 信一郎
		遠野工場長	深沢 修司

### (3) 事務局

	遠野市産業部	商工労働課長	永田 裕
		主査	菊池 学
		企業支援相談員	鈴木 まゆみ

## 4 欠席

### 構成員

	岩手県	県南広域振興局 経営企画部産業振興室長	熊谷 郁夫
	国立大学法人岩手大学	三陸復興・地域創生推進機構 地域連携推進部長	早川 浩之

## 【会議記録】

### 1 開会

(事務局 永田事務局員)

只今から、第1回遠野市地域未来投資推進協議会を開催する。本日の出席者については次第の出席者名簿を参照頂きたい。それでは次第に沿って進めさせて頂く。

### 2 挨拶

(会長 遠野市 中村産業部長)

市内で新型コロナウイルスの感染者が出たと情報が入った翌日ですがお集まり頂き感謝申し上げます

る。本日は協議会の総会として、昨年度事業報告と今年度事業計画をご審議頂く。また、次第ではその他となっているが、地方創生に関連して昨年度の事業実績、K P I についてご審議頂く内容となっている。

忌憚無いご意見を頂戴したい。

### 3 議事

#### (1) 議案第 1 号 令和元年度事業報告及び収支決算について

(議長 遠野市 中村産業部長)

議事に入らせて頂く。次第の議事議案の第 1 号令和元年度事業報告及び収支決算について事務局の方から説明をお願いする。

(事務局 菊池学事務局員)

－議案第 1 号のとおり説明－

(議長 遠野市 中村産業部長)

只今の説明に対し、質問・意見を。

(遠野市 遠野市 中村産業部長)

展示会東京モーターショーは新型コロナの流行が始まった辺りの開催か。

(大野ゴム工業株式会社 伊藤常務取締役)

新型コロナ流行前の 10 月開催であった。

(遠野商工会 斎藤事務局長)

予定していた視察はどうなったか。

(事務局 永田事務局員)

計画では 2 月に大野ゴム工業株式会社の栃木県の工場見学と合わせて東京（ビッグサイト）で開催される機械要素技術展を視察する予定だった。2 月下旬から新型コロナの影響による出張の自粛等もあり、一度計画を 3 月実施に変更したものの、最終的に新型コロナの影響の拡大により、令和元年度の事業実施を見送った。

(議長 遠野市 中村産業部長)

他に、ご意見・ご質問はないか。

(構成員)

－なし－

(議長 遠野市 中村産業部長)

議案第 1 号について承認頂くことでよろしいか。

(構成員)

－異議なし－

(議長 遠野市 中村産業部長)

議案第 1 号について承認頂いた。

#### (2) 議案第 2 号令和 2 年度事業計画及び収支予算について

(議長 遠野市 中村産業部長)

続いて、議案第 2 号について事務局から説明を。

(事務局 菊池学事務局員)

－議案第2号のとおり説明－

(議長 遠野市 中村産業部長)

只今の説明に対し、質問・意見をどうぞ。

(議長 遠野市 中村産業部長)

事業計画の地域経済牽引企業の状況調査について伺いたい。

(事務局 永田事務局員)

昨年度実施できなかった大野ゴム工業株式会社の栃木県の工場見学を令和2年度の計画で再浮上させたもの。新型コロナの影響次第によっては、最終的に実施の有無の判断が出てくると思うが、協議会の事業計画としては是非実施したい考えである。

(商工会 斎藤事務局長)

実施する時期についての検討はこれからか。

(事務局 永田事務局員)

新型コロナの影響など、秋から年末年始にかけての実施が難しいと思う。機械要素技術展が2月か3月に開催される予定と聞いているので、それに合わせて実施したい考え。

(議長 遠野市 中村産業部長)

他に、ご意見・ご質問はないか。

(構成員)

－特になし－

(議長 遠野市 中村産業部長)

議案第2号について承認頂くことでよろしいか。

(構成員)

－異議なし－

(議長 遠野市 中村産業部長)

議案第2号について承認頂いた。

議案については全て終了したが、この際他に総会での審議として何かあるか。

(構成員)

－なし－

(議長 遠野市 中村産業部長)

以上を持って、協議会の総会での議案の審議は全て終了する。スムーズな進行に協力頂き感謝する。

#### 4 その他

(事務局 永田事務局員)

総会以外の会議の進行は、事務局で担当させて頂く。

##### (1) 地方創生推進交付金実施計画事業評価について

(事務局 永田事務局員)

早速、その他として事務局で用意した案件としてKPIの評価についてご審議頂く。

本協議会の趣旨の一つに、地域再生計画や地方創生推進交付金実施計画の事業評価がある。これら計画は3ヵ年計画となっており、地方創生推進交付金の活用にあたり、各年度ごとに

重要行政評価指標、いわゆるK P Iを設定している。

本日は、計画初年度に当たる令和元年度の事業実績について評価、審議頂く。

(事務局 菊池学事務局員)

地方創生推進交付金実施計画事業評価について説明する。

まずは、自動車産業集積化加速 ローカル連携・グローバル展開プロジェクトのK P Iについて説明する。

計画期間は平成 31 年 4 月から令和 4 年 3 月までの 3 ヶ年となっている。

重要行政評価指標、いわゆるK P Iに関しては、令和元年度の目標値として、市内自動車関連ゴム製品製造出荷額 9 千万円の増を見込んでいたところだが、実績としては 8 千万円の増と若干計画値に届かなかった。自動車関連企業設備投資額としては、令和元年度の計画値として 2.9 億円の設備投資を計画していたが、連携を図る予定だった企業との調整が最終的に整わず、機械設備の導入が計画どおりできなかったため、1,250 万円程度の設備投資に留まった。自動車関連企業の現金給与総額に関しては、2 千万円増の計画値に対し、3 千万円増となった。その他、とおのでくらす&はたらく若者定着促進事業として、高校生の工場見学、インターンシップなど延べ 306 人の参加があった。なお、こちらの指標に限り、ゴム製造以外も含まれる。

次に、企業支援による若者しごとサポート事業のK P Iについて説明する。

こちらは、計画期間が平成 31 年 4 月から事業を実施し、今年 3 月に計画変更が認定され、令和 2 年 4 月から令和 7 年 3 月まで更に 5 ヶ年計画期間が延長されている。

事業の実施状況に関する指標、いわゆるK P Iとしては、奨学金返還支援数 10 人の目標値に対し、実績が 16 人。新卒者地元就業者数が 35 人の目標に対し、実績が 41 人。うち高卒者が 31 人となっており、それぞれ計画値を超える実績となった。

また、K P Iの設定以外の数値としては、企業版ふるさと納税について、3 件 500 万円の寄附を頂いたところ。

次に、地域再生支援利子補給金事業の令和元年度分のK P Iについて説明する。

こちらは、構成員の岩手銀行が地域再生支援利子補給金を国から受けるため、遠野市で地域再生計画を策定したもので、令和 2 年度から事業開始となっている。

K P Iが平成 30 年度時点の数字であり、事業開始が令和 2 年のため、その間にあたる令和元年度の遠野市の製造品出荷額、祖付加価値額、固定資産保有額、新規雇用者数について、現状把握できる範囲で共有する。詳細は資料のとおり。

なお、正規な事業評価は、来年度のこの協議会で行う予定。

(事務局 永田事務局員)

以上の説明について、ご意見・ご質問をどうぞ。

(遠野市 中村産業部長)

「とおのでくらす」は市の、「で・くらす遠野」の事業と関係があるか。

(事務局 永田事務局員)

事業での直接的な関係は有していない。ただし、地方創生の掲げる趣旨として、東京一極集中の是正、地方の人口減少の歯止め、できれば人材や企業の地方移転の促進などが挙げられる。本事業も、最終的なアウトカムとしては人口の維持・定着を狙うものであり、遠野の定住人口確保を象徴する名称である「で・くらす」を事業名称に取り込んだもの。

(遠野商工会 齋藤事務局長)

設備投資額の実績値が計画よりも大きく下がっている。

(事務局 永田事務局長)

計画立案時は、市内事業所の事業承継と併せて自動車用のゴム製品製造の事業に参加する計画で話が進んでいた。当初の計画段階では、その事業所自らゴム製品の製造のための機械設備の導入が困難なため、地域経済牽引企業が機械設備を用意し、それを当該事業者へ貸与するかたちで検討を進めていた。しかし、年度早々にその話が進まなくなり、調整が整わず、機械設備の導入ができなかったため、設備投資の計画が大幅に縮減に至った。

(遠野商工会 齋藤事務局長)

令和元年度に実行できなかった計画は、例えば令和2年度に実行することが可能か。

(事務局 永田事務局長)

行政の場合、予算は年度ごととされている。また、地方創生推進交付金が年度別に事業費を積算しているため、年度を超えて事業費を組み替えるができない。従って、令和元年度に設備投資できず、予算を執行できなかった分を、後年に取り戻すようなことはできない。

(東北銀行 備前遠野支店長)

経営者である理事長の判断とは言え、せつかくの機会を生かすことができず残念なことだ。

令和2年度の設備投資とは何か。

(大野ゴム工業株式会社 伊藤常務取締役)

松崎町白岩に整備中の倉庫を指している。事業連携する株式会社ビッグフィールドに建物を貸し、ゴム製品の輸出などの事業を展開する計画。建物は9月完成の予定。

なお、遠野工場で製造したゴム製品をビッグフィールドの倉庫に保管し、年内には釜石港から20フィートサイズのコンテナでマレーシアまで運ぶための準備を進めている。

(事務局 永田事務局長)

東北横断自動車道、釜石道を通して、震災後ガントリークレーンが整備された釜石港から海外に遠野で作られた製品が輸出される初の事例。市も期待している。

(岩手銀行 菊田遠野支店長)

評価結果は、その後どういう手順となるのか。

(事務局 菊池学事務局長)

評価結果は、9月開会の遠野市議会に報告をすることになっている。9月議会は前年度の決算審査も議案にあるため、これに併せて議会でも審議頂くこととなる。

本日審議頂いたKPIも、主要な施策に関する成果説明として、目標値、実績値をそれぞれ記載されている。

なお、その前に協議会から市へ評価結果を提出し、これを受けた市では、商工関係の諮問答申の役割を担う遠野商工会に評価結果の諮問答申を依頼する。答申を受けた市が議会へ決算審査と併せて報告するといった流れでもって、評価作業は引き続き遠野市でも進めていく。

(事務局 永田事務局長)

他にご意見・ご質問はないか。

(構成員)

－なし－

(事務局 永田事務局員)

協議会としてのK P Iの審議は、以上とする。

## (2) その他

(事務局 永田事務局員)

K P Iの審議以外、事務局では用意していないが、この際何かあるか。

(構成員)

－なし－

## 5 閉会

(事務局 永田事務局長)

以上、協議会総会を含め会議の全てを終了させていただきます。